

# 国立・国定公園に係る海域の保全及び利用に関する懇談会の概要

環境省自然環境局  
国立公園課

## 1. 懇談会の開催

### 懇談会の目的

国立・国定公園における優れた自然の風景地の保護と利用の増進のために海域で必要な対策についての基礎的な勉強を行うため、国立・国定公園内を中心とした海域の景観、生物多様性及び利用に関する現状と課題等について幅広くご意見をいただくもの。

### 懇談会委員

宇井 晋介	(株)串本海中公園センター支配人
加藤 真	京都大学大学院教授
加藤 峰夫	横浜国立大学大学院教授
亀崎 直樹	ウミガメ協議会代表 / 東京大学大学院客員助教授
鹿野 久男	(財)国立公園協会理事長
清野 聡子	東京大学大学院助手
多紀 保彦	(財)自然環境研究センター理事長(座長)
仲岡 雅裕	千葉大学助教授
西田 正憲	奈良県立大学教授
藤原 秀一	尾道海技学院非常勤講師 / いであ株式会社沖縄技術本部副本部長
牧野 光琢	(独)水産総合研究センター中央水産研究所研究員
吉田 正人	江戸川大学教授

## 2. 主な検討テーマ

### 第1回懇談会

平成19年2月1日(木) 13:30~16:30

新宿御苑インフォメーションセンター

議題: 国立・国定公園に係る海域における景観・利用の現状と課題

話題提供: 「海の公園の景観」西田委員

「串本海中公園における海域利用の実態」宇井委員

## 第2回懇談会

平成19年3月14日(水) 13:30~16:30

議題：国立・国定公園に係る海域における生物多様性保全の現状と課題

話題提供：「渚の生物多様性」加藤(真)委員

「岩礁帯・藻場の生物多様性」仲岡委員

「漁業制度と生物多様性保全」牧野委員

なお、本懇談会は、文献調査やケーススタディー等によって、国立・国定公園の海域における現状把握と課題抽出を目的とする「平成18年度国立・国定公園海域保全方策検討業務」の一環として行い、事務局は(財)国立公園協会が務める。